

ほくよう資産形成応援ファンド ＜愛称 ほくよう未来への翼＞

追加型投信／国内／資産複合

交付運用報告書

第5期(決算日2022年6月10日)

作成対象期間(2021年6月11日～2022年6月10日)

第5期末(2022年6月10日)	
基準価額	10,395円
純資産総額	830百万円
第5期	
騰落率	△ 0.5%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」を選択し、該当のファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「ほくよう資産形成応援ファンド」は2022年6月10日に第5期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、主として、投資対象ファンドへの投資を通じて、国内の複数の資産(債券・株式・REIT)に分散投資し、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



ちばぎんアセットマネジメント

東京都墨田区江東橋2丁目13番7号

<照会先>

電話番号：03-5638-1451

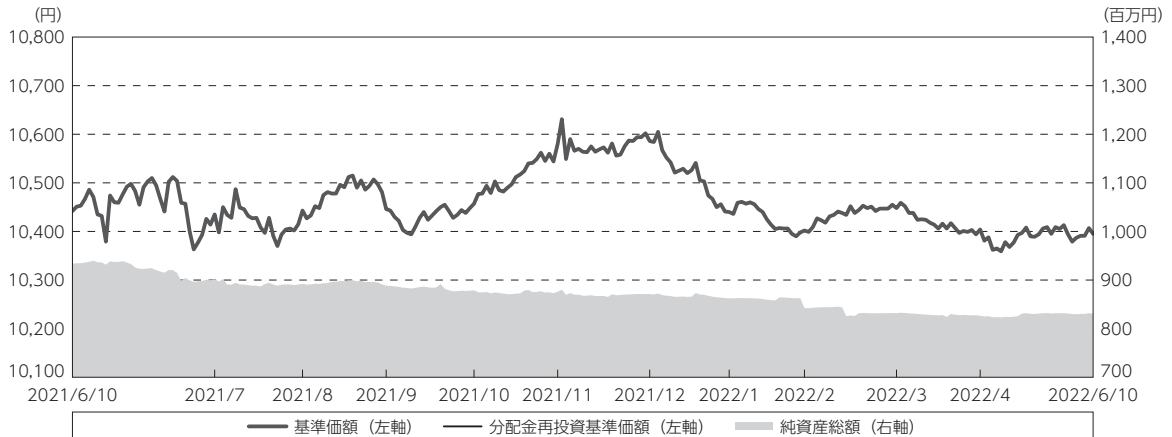
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

ホームページ：http://www.chibagin-am.co.jp/

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年6月11日～2022年6月10日)



期 首：10,442円

期 末：10,395円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 0.5% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年6月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、当期末において10,395円となりました。期中の分配は見送りましたので、期首比では0.5%(信託報酬控除後)の下落となりました。

当ファンドは、ニッセイアセットマネジメント株式会社が運用する「ダイナミック・コントロール・ジャパン(適格機関投資家専用)」および「ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)」を主要投資対象とし、投資対象ファンドへの投資を通じて、国内の複数の資産(債券・株式・REIT)に分散投資しました。実質的な資産配分は、計量モデルによる市場局面判断等に基づき、有価証券先物取引等を活用して調整を行いました。

(プラス要因)

- ・2021年9月下旬から2022年3月上旬までの株式市場の下落局面で、株式とリートの実質組入比率を0%程度に維持していたこと

(マイナス要因)

- ・2021年9月上旬から9月中旬までの株式市場の上昇局面で、株式とリートの実質組入比率を0%程度に維持していたこと

1万口当たりの費用明細

(2021年6月11日～2022年6月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	89 円	0.852 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(40)	(0.385)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0.440)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	90	0.857	
期中の平均基準価額は、10,462円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

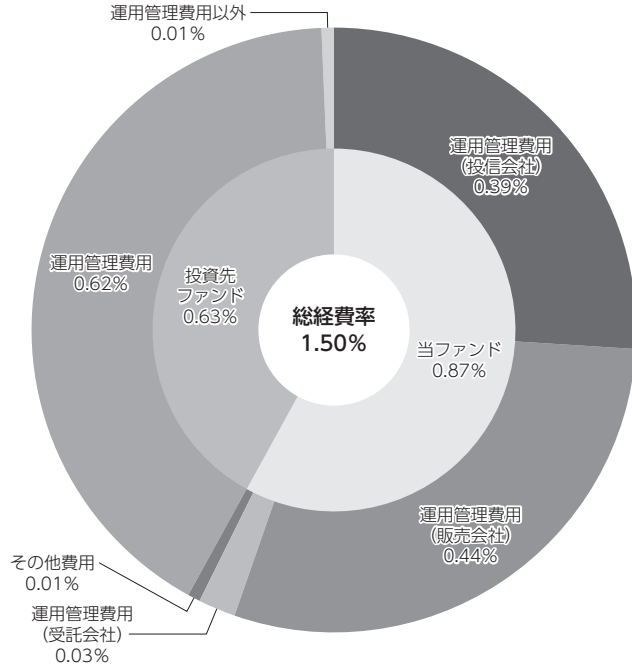
(注4) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.50
①当ファンドの費用の比率	0.87
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01

(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

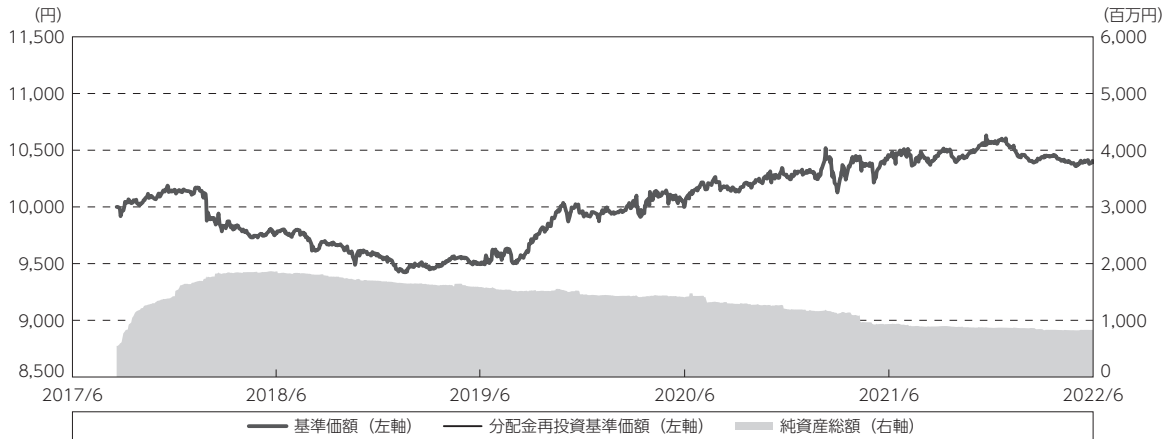
(注5) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2017年6月12日～2022年6月10日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの設定日は2017年8月31日です。

	2017年8月31日 設定日	2018年6月11日 決算日	2019年6月10日 決算日	2020年6月10日 決算日	2021年6月10日 決算日	2022年6月10日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,769	9,494	10,002	10,442	10,395
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.3	△ 2.8	5.4	4.4	△ 0.5
純資産総額 (百万円)	548	1,862	1,584	1,407	933	830

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2018年6月11日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注4) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を特定していません。

投資環境

(2021年6月11日～2022年6月10日)

【国内債券】

国内長期金利（10年国債利回り）は上昇しました。期初から2021年8月上旬にかけては、国内景気の先行き不透明感や米国長期金利の低下などを背景に、0.01%を下回る水準まで低下しました。その後、10月下旬にかけては9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げ時期の前倒しが示唆されたことや、日銀の国債買い入れオペ（公開市場操作）での長期国債買い入れ減額観測の高まりなどから国内長期金利は0.1%近辺まで上昇しました。12月下旬にかけては、新型コロナウイルスのオミクロン型変異株への警戒感などから0.04%台まで低下しましたが、期末にかけては米国長期金利の上昇やインフレ加速への懸念などを背景に上昇基調となり、0.253%で期末を迎えました。

【国内株式】

国内株式市場は下落しました。日経平均株価は期初から2021年8月下旬にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大を背景に経済の先行きに不透明感が高まったことなどから、27,000円台まで下落しました。その後、9月中旬にかけては菅前首相の総裁選不出馬表明による次期政権の追加経済対策への期待感や、新型コロナウイルスの国内感染状況の改善などを受け、日経平均株価は30,600円台まで上昇しました。2022年3月上旬にかけては、米国の金融引き締めへの懸念やウクライナ情勢の緊迫化などを背景に軟調な推移となり、24,700円台まで下落しました。期末にかけては、円安の進行や中国における都市封鎖の解除などをを受けて戻り歩調となり、27,800円台で期末を迎えました。

【国内リート】

国内リート市場は下落しました。期初から2021年10月上旬にかけては、公募増資の増加による需給悪化への懸念や中国恒大集団の債務問題に対する懸念、9月開催のFOMC以降の世界的な長期金利の上昇などをを受けて、下落基調となりました。その後、国内の緊急事態宣言解除後の経済活動の再開に対する期待の高まりを受けて反発する局面もありましたが、2022年1月中旬にかけては、米国における金融引き締めが意識されたことによる米国長期金利の上昇や国内の新型コロナウイルスの感染者数の増加を受けて、下落しました。期末にかけては、ウクライナとロシアの停戦協議に対する期待が一時高まったことや、国内における人流や消費の回復期待などが追い風となり、戻り歩調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年6月11日～2022年6月10日)

主要投資対象であるニッセイアセットマネジメント株式会社が運用する「ダイナミック・コントロール・ジャパン（適格機関投資家専用）」への投資を高位に保つ運用を行いました。

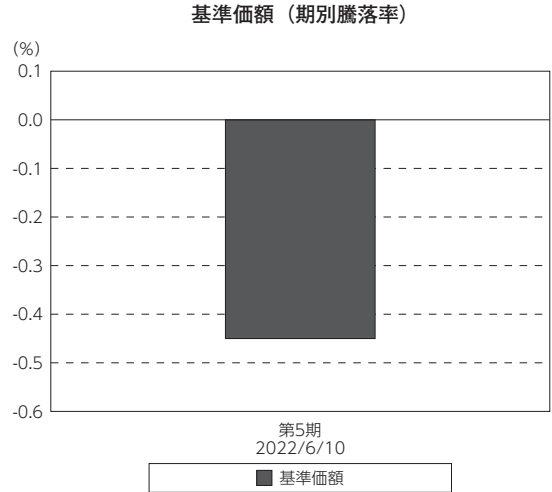
組入ファンド	当期末
ダイナミック・コントロール・ジャパン（適格機関投資家専用）	99.4%
ニッセイマネーマーケットファンド（適格機関投資家限定）	0.0%

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年6月11日～2022年6月10日)

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を特定しておりません。

右記グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

(2021年6月11日～2022年6月10日)

基準価額水準、市況動向等を勘案し、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第5期
	2021年6月11日～ 2022年6月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	420

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後もニッセイアセットマネジメント株式会社が運用する「ダイナミック・コントロール・ジャパン（適格機関投資家専用）」および「ニッセイマネーマーケットファンド（適格機関投資家限定）」を主要投資対象とし、投資対象ファンドへの投資を通じて、国内の複数の資産（債券・株式・REIT）に分散投資します。また、各資産への実質的な配分は、計量モデルによる市場局面判断等に基づき、有価証券先物取引等を活用して機動的に変更してまいります。

また引き続き、投資対象ファンドへの合計投資割合は、原則として高位を維持してまいります。

お知らせ

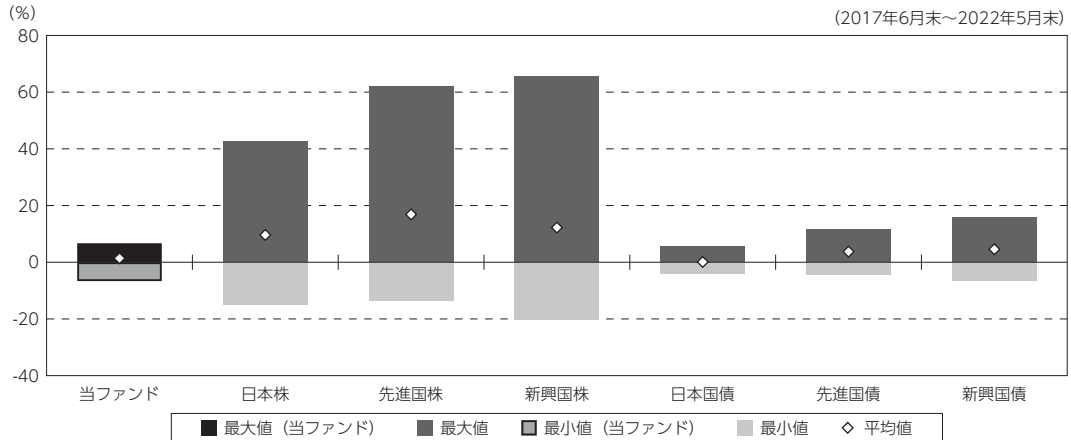
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/国内/資産複合
信託期間	2017年8月31日から無期限です。
運用方針	信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	投資対象ファンドへの投資を通じて、国内の複数の資産（債券・株式・REIT）に分散投資します。
運用方法	主として、投資対象ファンドへの投資を通じて、国内の複数の資産（債券・株式・REIT）に分散投資し、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等のうちから、基準価額水準等を勘案して、分配を行う方針です。 ただし、分配対象金額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 収益分配に充てなかった留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	6.7	42.8	62.2	65.6	5.5	11.6	16.0
最小値	△ 6.7	△ 15.1	△ 13.6	△ 20.4	△ 4.1	△ 4.6	△ 6.6
平均値	1.4	9.6	16.9	12.2	0.1	3.7	4.6

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2017年6月から2022年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2018年8月以降の年間騰落率を用いております。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：Morningstar 日本株式指数

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株：Morningstar 新興国株式指数

日本国債：Morningstar 日本国債指数

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

上記の代表的な資産クラスの指数を変更いたしました。当ファンドの商品性に変更ございません。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2022年6月10日現在)

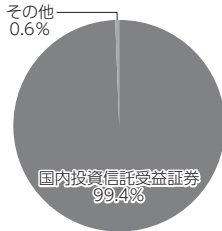
○組入上位ファンド

銘柄名	第5期末
	%
ダイナミック・コントロール・ジャパン(適格機関投資家専用)	99.4
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

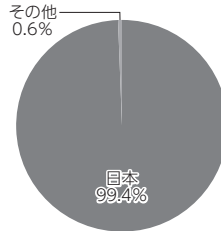
(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

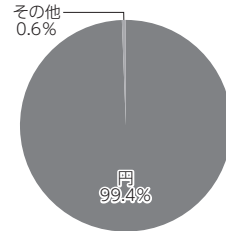
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注3) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第5期末
	2022年6月10日
純資産総額	830,873,129円
受益権総口数	799,308,278口
1万口当たり基準価額	10,395円

(注) 期中における追加設定元本額は72,784,485円、同解約元本額は167,655,733円です。

組入上位ファンドの概要

ダイナミック・コントロール・ジャパン (適格機関投資家専用)

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2021年7月16日~2022年1月17日)

項目	第47期~第52期	
	金額	比率
信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	35 (33) (0) (1)	0.321 (0.308) (0.000) (0.013)
売買委託手数料 (株 式) (先物・オプション) (投資信託証券)	5 (1) (3) (1)	0.045 (0.012) (0.026) (0.007)
その他費用 (監査費用) (その他)	1 (1) (0)	0.006 (0.006) (0.000)
合 計	40	0.372

期中の平均基準価額は10,863円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位ファンド】

	第52期末 2022年1月17日
ニッセイ国内債券アルファマザーファンド	34.2%
ニッセイJPX日経400アクティブマザーファンド	29.6
ニッセイJ-R E I Tマザーファンド	19.6

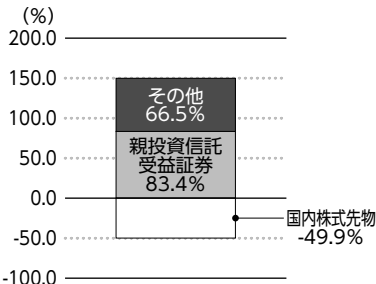
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全ファンドを記載しています。

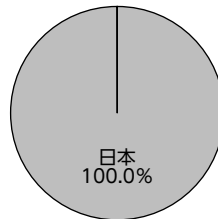
【組入上位銘柄】

銘柄名	通貨	比率
ミニTPX 先物 0403月	円	30.4%
TREIT 先物 0403月	円	19.5
組入銘柄数	2	

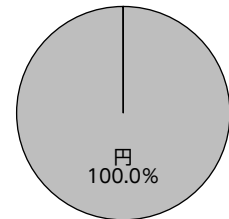
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、2022年1月17日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

直接投資しているのは「ダイナミック・コントロール・ジャパン（適格機関投資家専用）」ですが、その先の投資資産を表示しております。

＜ご参考＞ ニッセイ国内債券アルファマザーファンドの概要

【基準価額の推移】



【上位銘柄】

銘柄名	通貨	比率
第147回 利付国債（5年）	円	13.3%
第351回 利付国債（10年）	円	10.0
第979回 国庫短期証券	円	9.4
第146回 利付国債（5年）	円	7.8
第354回 利付国債（10年）	円	5.2
第353回 利付国債（10年）	円	4.9
第175回 利付国債（20年）	円	3.8
第343回 利付国債（10年）	円	3.6
第347回 利付国債（10年）	円	3.4
第423回 利付国債（2年）	円	2.6
組入銘柄数		26

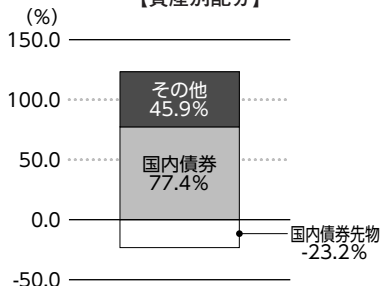
【1万円当たりの費用明細】

2020.4.21～2021.4.20

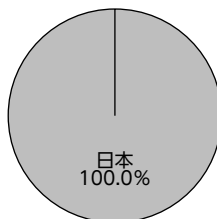
項目	金額
売買委託手数料 （先物・オプション）	1円 (1)
その他費用 （その他）	0 (0)
合計	1

（注）上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

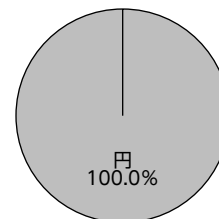
【資産別配分】



【国別配分】



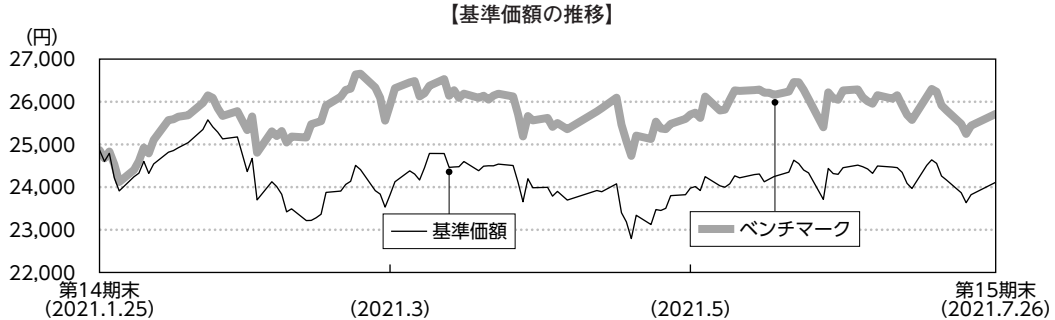
【通貨別配分】



（注1）基準価額の推移および1万円当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

（注2）上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2021年4月20日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

<ご参考> ニッセイ J P X 日経 400 アクティブマザーファンドの概要



(注) ベンチマークは J P X 日経インデックス 400 (配当込み) で、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。「J P X 日経インデックス 400」は、日本取引所グループおよび東京証券取引所 (以下総称して「J P X グループ」といいます) ならびに日本経済新聞社 (以下「日経」といいます) の知的財産であり、その商標権その他の知的財産権は、すべて「J P X グループ」および「日経」に帰属しています。「J P X グループ」および「日経」は、「J P X 日経インデックス 400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負いません。「J P X グループ」および「日経」は、「J P X 日経インデックス 400」の構成銘柄、計算方法、その他「J P X 日経インデックス 400」の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。「J P X グループ」および「日経」は、当商品の運用および取引に関して、一切の責任を負いません。

【上位銘柄】

銘柄名	通貨	比率
キーエンス	円	6.2%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	円	5.4
トヨタ自動車	円	5.4
東京エレクトロン	円	5.3
野村総合研究所	円	5.2
任天堂	円	4.6
日立製作所	円	4.1
ソニーグループ	円	4.0
東京海上ホールディングス	円	3.1
富士通	円	3.1
組入銘柄数		44

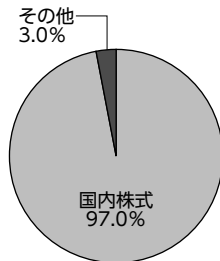
【1万口当たりの費用明細】

2021.1.26~2021.7.26

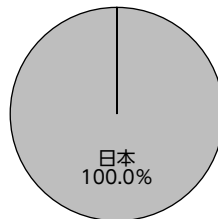
項目	金額
売買委託手数料 (株式)	15円 (15)
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	15

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

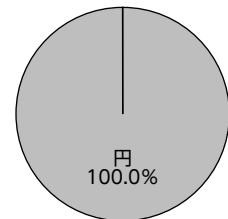
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

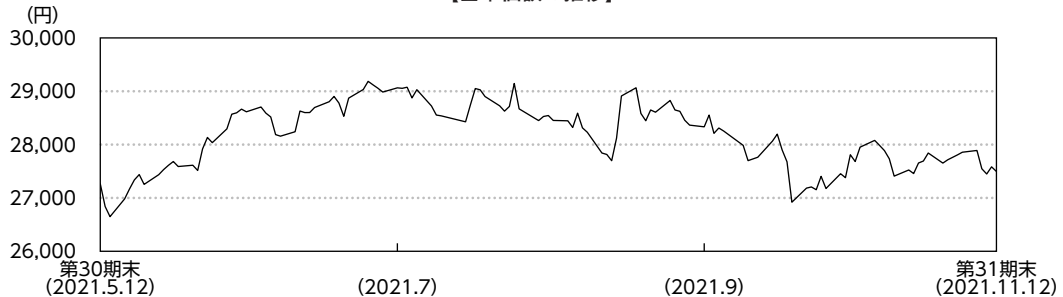


(注 1) 基準価額の推移および 1 万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注 2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日 (2021年 7 月 26 日現在) のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

<ご参考> ニッセイ J-R E I T マザーファンドの概要

【基準価額の推移】



【上位銘柄】

銘柄名	通貨	比率
日本都市ファンド投資法人	円	6.5%
野村不動産マスターファンド投資法人	円	6.2
ユナイテッド・アーバン投資法人	円	6.1
GLP投資法人	円	5.7
ラサールロジポート投資法人	円	4.8
大和ハウスリート投資法人	円	4.5
オリックス不動産投資法人	円	4.4
日本プライムリアルティ投資法人	円	4.2
三井不動産ロジスティクスパーク投資法人	円	4.1
産業ファンド投資法人	円	4.0
組入銘柄数		45

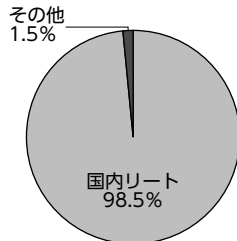
【1万円当たりの費用明細】

2021.5.13~2021.11.12

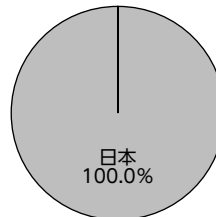
項目	金額
売買委託手数料 (投資信託証券)	9円 (9)
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	9

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

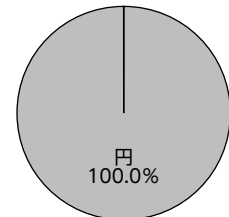
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

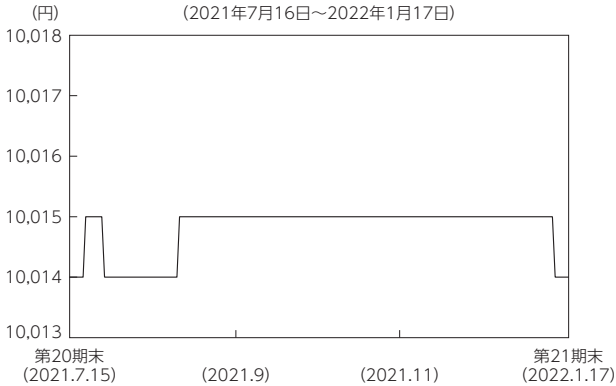


(注1) 基準価額の推移および1万円当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2021年11月12日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイマネーマーケットファンド（適格機関投資家限定）

【基準価額の推移】



(注) グラフの基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものです。

【1万口当たりの費用明細】

(2021年7月16日～2022年1月17日)

項 目	第21期	
	金 額	比 率
	円	%
そ の 他 費 用	0	0.000
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	0	0.000

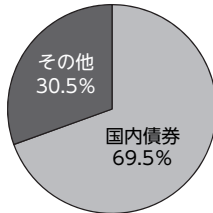
期中の平均基準価額は10,015円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

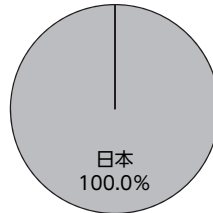
【上位銘柄】

銘柄名	通貨	比率
第710回 東京都公募公債	円	29.8%
第106回 共同発行市場公募地方債	円	19.8
平成23年度第1回 静岡市公募公債	円	19.8
組入銘柄数	3	

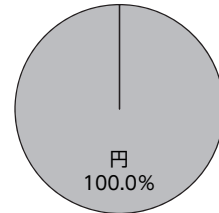
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2021年10月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

※上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- **日本株**
Morningstar 日本株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- **先進国株**
Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- **新興国株**
Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar,Incが発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- **日本国債**
Morningstar 日本国債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- **先進国債**
Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- **新興国債**
Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar,Incが発表している債券指数で、新興国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、すべて利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

<重要事項>

当ファンドは、Morningstar,Inc.、またはイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar,Inc.の関連会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、当ファンドの受益者または公衆に対し、明示または黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、ちばぎんアセットマネジメント株式会社（以下、「委託会社」と言います）とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマークおよびサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社または当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成または算定を行うにあたり、委託会社または当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額および設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティングまたは売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータの正確性および／または完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者もしくはユーザー、またはその他の人もしくは法人が、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータについて明示または黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的または使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。